

Ⅲ. 三世代間における体力・運動能力の比較・分析

《調査分析の観点》

50 回分のデータを活用して、昭和 39 年度、平成元年度、平成 25 年度時における 10 歳の握力、50m走、ボール投げ、反復横とびを取上げ、三世代が青少年の頃の体力・運動能力について比較・分析した。

- 握力及び 50m走では男女ともに平成元年度の 10 歳が最も高い値を示している。昭和 39 年度と平成 25 年度の結果を比較すると、平成 25 年度の 10 歳が上回っている。
- ボール投げにおいては、男子で低下が著しく、昭和 39 年度の 10 歳が最も高い水準（30.38m）であり、平成元年度は 2 m 程度低下し、さらに、平成 25 年度では昭和 39 年度と比較して、6 m 程度低下している。
- 反復横とびについては、男女ともに平成 25 年度の 10 歳が最も高い値を示している。

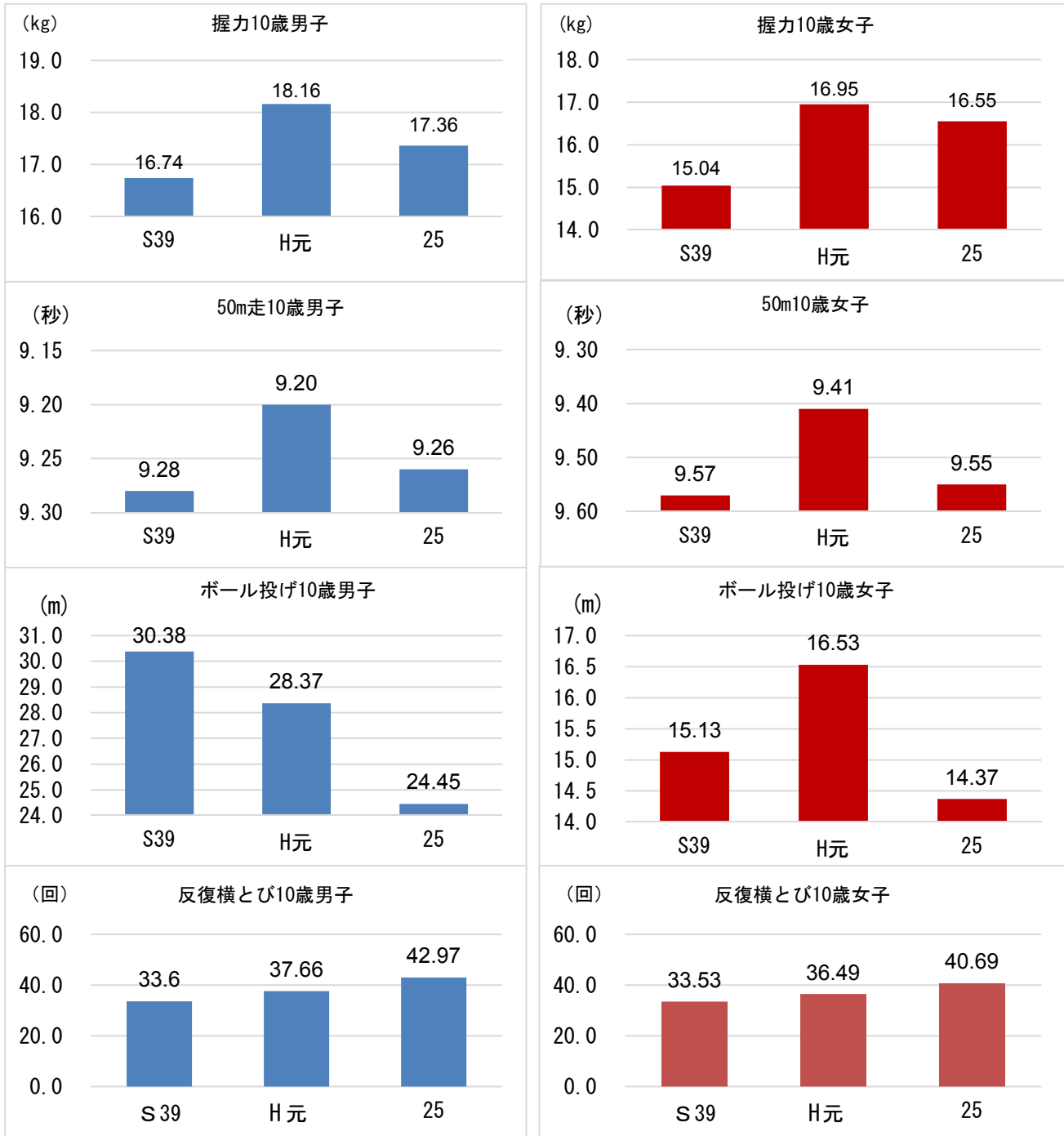


図 9. 10 歳の握力、50m走、ボール投げ、反復横とびの三世代比較